

豊岡市職員の公共交通通勤について

公共交通の維持確保と地球温暖化防止に資するため、市職員の公共交通通勤を推進する。ついては、4月から市職員モニターによる試験実施を行い、課題を整理した後、職員全体での呼びかけを10月から行う予定である。

1. 目的

現在の公共交通を取り巻く状況は

車社会の発達により鉄道・バス利用者が減少。

地域でのバス利用と支援を再三要請するものの、地域にも限界がある。

このまま行けば、近い将来に交通空白地域が市内に多数発生する。

この状況が続けば鉄道交通も縮小する。

そこで、

市内最大の事業所である「豊岡市役所」が公共交通を利用した通勤を実施し、次代にバス・鉄道を残す。

2. 効果

(1) 市内公共交通網の維持につながる。

(2) 豊岡市が目指す「環境経済戦略」の具体的実現

CO₂削減による地球温暖化防止に「市役所」が先駆的な役割を果たす

みんなで止めよう温暖化「チーム・マイナス6%」参加自治体としての取組み

(年間勤務日数240日の場合) 約386tの削減(豊岡市の公共施設排出量の約2%相当)

(3) 職員の健康管理

通勤時の安全対策(精神、肉体) ...e 通勤チャレンジで実証済み

職務に対する意識改革

(4) 取組みの拡大

市内事業所(ex 但銀、但信、農協)を対象に4月からアンケートを実施し、事業所での公共交通利用促進を図る。

3. 実施時期

(1) 平成21年3月～ モニター募集

全職員からモニターを募集。特に係長級以上の職員はできる限りの参加を要請する。

職員研修会 全職員、いずれかに参加を

3月11日(水)午後1時から2時まで

18日(水)午前11時から正午まで

(2) 平成21年4月～ (モニターからの報告により)ダイヤの再編検討。

市内事業所にアンケートを実施し、参加を要請する。

(3) 平成21年10月～ 全職員に対し公共交通通勤への転換を依頼。